

第9課 イタリア語組「中秋節」

阿酷：来週の中秋節は、家族がみんな集まる日だよ。

阿妹：ああ、中秋節は中国人にとってはとても大切な日ですものね。

ナナ：そんなに大切な日なの？私、去年、全然気付かなかったわ。

阿南：去年は、写真を撮るのに忙しかったから、中秋節のことを忘れていたんだよ。

ナナ：それじゃ、中秋節って、何をするの？¹

阿妹：8月にもなると、空気が澄んで満月が美しく輝くの。

阿酷：家族が集まって、嫦娥が月に行く伝説を話したりするんだ。

ナナ：私、これで台湾のすべての祝日を体験したことになるのね。(独り言)

阿妹：小さい頃は、中秋節の時は家族全員で過ごしたわ。いい思い出よ。

阿丁：阿妹、今は9月だけど、さっき8月って言ったよね？

阿妹：旧暦の8月ってことだよ。

阿丁：ああ、なるほど。新暦だと9月になるんだね。

ナナ：台湾の祝祭日の多くは、月の満ち欠けによるのね。

阿妹：そうなの？例えばどういう祝祭日のこと？

ナナ：つまり、中華文化は旧暦、つまり月が基準で、西洋文化は新暦、つまり太陽が基準ということよ。七夕とバレンタインデーがいい例ね。

阿丁：なるほどね。だから、古代ギリシャから古代ローマにかけては、太陽の神アポロが崇拜の対象になったんだ。

阿妹：もう、また起源の話？それより月餅の由来をナナに話したいわ。

ナナ：そうね。台湾の祝祭日には、その日ならではの食べ物があるものね。

阿妹：中秋に月餅を食べる風習は、唐の時代に始まったのよ。明朝を建てた朱元璋が元を倒すため、お菓子に打倒元朝と書いた紙切れを入れたのが始まりで、その後、月餅を食べる風習が広まったんだって。

阿丁：ぼくは台湾に来てもう何年にもなるけど、こんなに伝統的な中秋節は初めてだよ。

阿南：哲学も伝説もいいけど、太陽餅もおいしいよ。

阿丁：阿南は「花より団子」だからね。

阿南：違うよ！だけど、台中の太陽餅は西洋のアポロを記念したお菓子だと、ぼくは思うよ！

¹ この部分は、原文は「大家 (みんな)」になっていますが、人物を決めないと翻訳しにくかったので、勝手にナナに変えました。ご了承ください。